

平成28年度 日南市立大堂津小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン

全職員の総力によって、一人一人の児童のよさや可能性を見出し伸長させるとともに、本校の教育的課題の解決をめざして取り組む。その中で、新時代を生き抜く「4つの学ぶ力（他者から学ぶ力、自ら学ぶ力、自然から学ぶ力、社会から学ぶ力）」を育てる日南教育の推進のために、「知」「徳」「体」の調和の取れた児童の育成をめざして全教育活動において目標達成に向けた取組を推進する。

【評価】 4（よい） 3（だいたい） 2（もう少し） 1（よくない）

評価項目	主な達成手段	判断基準	対象	評価	総合評価	考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見	
確かな学力の定着と向上	①基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を図った授業の推進	Web学習単元評価システム及び単元テストの正答率	学校	2.8	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 全ての学年において、前学年時よりも、Web学習単元評価問題の県の平均正答率より10%下回る項目の割合は、昨年度と同程度である。また、単元テストの正答率は、国語85、算数84であり、昨年度と同程度である。 生徒指導の機能【①児童に自己存在感を与える。②児童との共感的関係をつくる。③児童に自己決定の場を提供する。】を意識した授業の認識が若干弱い。 学校では個別指導や補充指導等きめ細かな指導を行っているが、十分な成果が出ているとは言い難い。また、家庭での学習の目安時間が達成できていないと認識している保護者が多く、今後家庭との連携を図りながら、全ての児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の進学に関して、部活動を理由に進学先を決定することがある。これは、将来の夢にも繋がることであり、勉強に関しても、将来の夢や目標をもたせることが大切である。 ・宮崎日日新聞の投稿など、子どもが認められる場が大切である。今後も継続して欲しい。 	
		主題研究の取組状況	学校	3.2				
		授業が分かりやすいと思う児童の認識	児童	3.6				
		授業が分かりやすいと思う保護者の認識	保護者	3.6				
	②個別指導を生かした一人一人の学力向上	個別指導の実施状況	分かるまで学習をしているという認識	児童				3.4
			分かるまで家庭で学習をしているという認識	保護者				2.8
			パワーアップやスラスラタイムの実施状況	学校				3.1
			パワーアップやスラスラタイムの工夫や改善の有無	学校				3
③各学力調査結果等の活用	生徒指導の機能を生かした授業	主体的に学習をしているという認識	児童	3.3				
		先生たちは、子どもを励ましなが指導しているという認識	保護者	3.6				
		④生徒指導の機能を生かした授業	学校	3.1				
		主体的に学習をしているという認識	児童	3.3				
心の教育の充実	①生徒指導の機能を生かした学級経営の充実	一人一人を大切に学級経営の取組状況	学校	3.8	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく充実した生活を送っていると思っている児童や保護者の認識は、肯定的な評価が多く、学校生活に満足している。 ・無言清掃が良くできている。 ・最新の大学生は、SNSを通じて入学する前から知り合いとなることがある。しかし、面と向かって直接話をして、相手と分かり合えるという面も大切である。 ・よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むため、主体的・対話的で深い学びを実現できる道徳教育の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、地域においてもあいさつをよくしている。大変気持ちがよい。 ・無言清掃が良くできている。 ・最近の大学生は、SNSを通じて入学する前から知り合いとなることがある。しかし、面と向かって直接話をして、相手と分かり合えるという面も大切である。 	
		楽しく充実した生活を送っていると思っている児童の認識	児童	3.5				
		楽しく充実した生活を送っていると思っている保護者の認識	保護者	3.4				
		基本的な生活習慣が定着しているという認識	学校	2.6				
	②基本的な生活習慣・態度の育成	清掃の取組状況	あいさつ、けじめ、えがおができていているという児童の認識	児童				3.4
			あいさつ、けじめ、えがおができていているという保護者の認識	保護者				3.1
			③温かい人間関係の構築	学校				3.1
			朝のボランティア活動等へ積極的に参加している児童の認識	児童				3.5
④温かい人間関係の構築	友達と助け合い、思いやりのある行動をしているという児童の認識	友達と助け合い、思いやりのある行動をしているという児童の認識	児童	3.5				
		友達と助け合い、思いやりのある行動をしているという保護者の認識	保護者	3.2				
		①体力向上プランの推進	学校	3.3				
		児童が体力の向上に努めているという認識	児童	3.4				
体力向上及び健康・安全、食育の充実	②安全指導の充実	安全指導の実施	学校	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者の健康・安全への意識が高く、新体力テストの結果を基にした体力向上への取組や複数回の避難訓練を継続的に実施している成果だと考えられる。 ・基本的な生活習慣、とりわけメディア制限の取組状況が弱く、生活リズムの乱れている児童も若干見られる。 ・保護者や地域との連携を図りながら、体力向上及び健康・安全、食育の継続的な指導に努めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の中学校であったとしても、県大会で勝利することができる。一人一人の体力向上は大切である。 ・スマホなどメディアを持たせるのは、保護者の責任である。せがまれても、毅然とした態度で接することが大切である。 ・学校においても、情報モラル教育などに取り組んで欲しい。 	
		行動の仕方が身に付いているという児童の認識	児童	3.8				
		行動の仕方が身に付いているという保護者の認識	保護者	3.2				
		③健康教育・食育の推進	学校	3.5				
	④健康教育・食育の推進	生活習慣チェックの状況調査の結果	早寝早起き朝ごはんができていているという保護者の認識	保護者				3.3
			ノーメディアdayの取組状況	保護者				2.8
			①細田地区4校連携推進	学校				3.2
			4校が連携した取組をしているという保護者の認識	保護者				3.6
家庭や地域に信頼される学校づくりの推進	②学校からの情報発信と地域や保護者からの情報収集	参観日や懇談を魅力あるものに努めているという認識	学校	3.4	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・細田地区4校の連携や地域人材の活用に関しては、肯定的な評価が多い。 ・学校の取組を積極的に公表し、更なる協力関係を築き上げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4校連携した取組は、中学校に進学した際の仲間づくりなどに大変有効となる。今後も継続して欲しい。 ・学校、学級だよりやホームページ等で、学校の情報発信がよくなされている。 	
		学校の様子を積極的に公表しているという保護者の認識	保護者	3.5				
	③学校支援地域本部事業の推進及び地域の人材・素材の活用促進	地域の素材・人材の積極的な活用ができていているという認識	地域の素材・人材の積極的な活用ができていているという認識	学校				3.1
			地域の素材・人材の積極的な活用ができていているという保護者の認識	保護者				3.5

次年度の方針

- 確かな学力の定着と向上について、分かる・できるまで教える授業改善や個別指導の充実に努め、家庭との連携を図りながら、自ら学ぶ力、他者から学ぶ力を育成する。
- 心の教育の充実について、自己の生き方への考えを深める道徳教育や浜子班（縦割り班）の充実に努め、他者から学ぶ力、社会から学ぶ力を育成する。
- 体力向上及び健康・安全、食育の充実について、保護者や地域との連携を図りながら継続的な指導に努め、自ら学ぶ力、自然から学ぶ力を育成する。
- 家庭や地域に信頼される学校づくりの推進について、細田地区集合学習等の学校間で連携した教育活動を展開するとともに、学校の情報発信に努め、社会から学ぶ力、自然から学ぶ力を育成する。